

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Predicting five-year outcome for patients with cutaneous melanoma in a population-based study.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ8-9	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	8697387	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	78	
	号	3	
	ページ	427-32	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1996 Aug 1	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Barnhill RL	Brigham and Women's Hospital
その他著者 1		Fine JA	Harvard Medical School
その他著者 2		Roush GC	Yale University School 'of Medicine
その他著者 3		Berwick M	Memorial-Sloan Kettering Cancer Center
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	悪性黒色腫における人口ベースの予後因子を解析する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	コネチカット州	
	対象者	1987 年 1 月から 1989 年 5 月までの 548 人	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 14 ）	
	介入（要因曝露）	組織型、クラークレベル、顕微鏡的衛星病巣、リグレッション、Tumor thickness、潰瘍、脈管浸襲、細胞分裂数、tumor infiltrating lymphocytes、growth phase、年齢、性別、原発部位、solar elastosis、黒子、リンパ球の反応、深部の色素	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	5 年生存率	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	単変量解析では組織型、クラークレベル、顕微鏡的衛星病巣、リグレッション、Tumor thickness、潰瘍、脈管浸襲、細胞分裂数、growth phase、solar elastosis が予後に影響した。 多変量解析では Tumor thickness と細胞分裂数のみが予後に影響した。	
	結論	Tumor thickness が最も強い予後因子であった。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志	

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ）
--	------------	-------------------